

津とハチ公

先週の授業で先生からハチ公像が全国には五体あるという話を受けて、津に何故ハチ公像があるのかと疑問に思いました。大館はハチ公の出身地、鶴岡は経由地、東京は暮らした町と4つに関しては、ハチ公にゆかりがあることは理解ができたのですが、津にはハチ公は全く訪れたことがなく、関係性が把握できませんでした。ということで、今回この点についてレポートで調べてみることにしました。

先ほど述べた通り、津とハチ公には直接的な関係性はありません。ただ両者ともある人物を通して間接的につながっているのです。その人物とは、ハチ公の飼い主である、東京大学の教授をされていた上野英三郎教授です。

上野教授の出身地は三重県一志郡本村、現在の津市久居です。しかしながら、地元では上野教授のことや、上野教授がハチ公の飼い主であること、また上野教授が津の出身であることがあまり知られていませんでした。その中で、上野教授のことをもっと多くの人に知ってもらいたい、後世にも残したいという人たちが「上野博士とハチ公の銅像を建てる会」を発足し、多くの方から募金を募ることで、3年前の2012年に全国初の上野教授とハチ公が並んだ銅像を建てられました。

この3年後の今年に東大、弥生キャンパス内にも上野教授とハチ公の銅像が並んだ銅像が完成しましたが、このように銅像という形でも何かものを残すことによって後世や現代の多くの人にその人物や功績などを伝えることは好ましい取り組みだと思います。過去の人物や、他の人間のことを知るのには、自分を知る上でも重要になってくると考えています。このように、普段はあまり目を向けなかった事柄でも様々なことに好奇心を持って知っていくことをしていきたいです。

最後に個人的な感想ですが、ハチ公が大好き上野教授の故郷で再会できたのは素敵なことだな、と感じました。

(参考文献) ひさい地域だより秋号 (平成24年)